

次世代自動車宮城県エリア

次世代自動車のための産学官連携イノベーション

総合調整機関

株式会社インテリジェント・コスモス研究機構（次世代自動車部）
〒985-8589
宮城県多賀城市桜木3丁目4番1号
TEL022-352-7462

参画機関（太字はプログラム実施機関）

- 産…一般社団法人東北経済連合会、
株式会社インテリジェント・コスモス研究機構
- 学…**国立大学法人東北大学**
- 官…**宮城県**
- 金…株式会社七十七銀行



プロジェクトディレクター
中塚 勝人

略歴：国立大学法人東北大学工学
研究科長、同副学長・理事（研究
担当）、公益財団法人みやぎ産業
振興機構理事長

自動車産業は急速な人口増加を背景とする成長分野である。東北地方は宮城・岩手両県を中心にコンパクトカーの生産集積地として整備されつつあり、今後の激しい開発競争に打ち勝つ人材と技術の基盤作りが課題である。東北大学の多数の自動車関連研究と地域企業との協力関係を強化し、岩手県プログラムと連携・補完を図りつつ自動車産業基盤の強化と大震災からの復興を目指す。

地域イノベーション戦略

東日本大震災からの復興、再生の鍵として、コンパクトカーを中心とした自動車産業集積と最先端の自動車開発への期待が広がっている。本地域イノベーション戦略では、東北大学をはじめとした高水準のシーズ・技術を発展させ、地域企業との連携を通じて地域の技術力を強化し、宮城県を中心とする東北地方を自動車産業の一大集積地として持続的に発展させられるよう、次世代自動車のための研究開発拠点を目指すとともに、震災による被災からの復興を強力に推進する。

事業の内容

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：国立大学法人東北大学、宮城県）

(1) 東北大学が実施する人材育成のためのカリキュラム

- (a) 次世代自動車のための産学官連携イノベーション基礎教育コース
- (b) 共用研究設備・機器・ソフトウェアを活用する次世代自動車関連技術の実習コース
- (c) 産学官連携プログラムの成果を自らの業務での成果に展開する応用・実践コース。養成者同士の人的交流も図り、産・学・官の若い世代が未来に向けてのビジョン、夢を語り合うような場を提供している。
- (d) 研究者による企業ツアー

(2) 宮城県が実施する人材育成のためのカリキュラム

みやぎカーインテリジェント人材育成センターによる講座開設。「生産・開発」、「機能・構造」、「工場見学」「業界研究セミナー」の4つの共通分野のほか、CAE分野、電子制御分野の2つの専門分野から成り、大学、専門学校、及び企業の協力を得て成果を上げている。

(3) 七十七銀行が実施する人材育成のためのカリキュラム

企業人による東北大学ラボツアー（東北大学と共催）を実施している。

2. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：株式会社インテリジェント・コスモス研究機構）

地域の大学等研究機関におけるコンソーシアム等の知のネットワークを構築し、大学等の技術シーズを発掘して地域の技術シーズ情報を収集・整理するとともに、企業のニーズの調査やマッチング等を行う。それらの人材との連携・協力を最大限に活用し、強力な知のネットワーク構築を実現する。

3. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化（実施機関：国立大学法人東北大学、宮城県）

- (1) 東北大学が保有する計58の機器が当プログラムの共用設備として開放されている。また「みやぎ復興パーク」にドライビングシミュレータや交通シミュレーションシステムが整備され、平成25年度より東北大学の管理のもとで共用が開始された。現在、設備運用の実務を担っている人の人件費の一部を本補助金で補助及び、補助者の雇用等を行うことにより、研究設備・機器・ソフトウェア等の共用化を進めている。
- (2) 宮城県産業技術総合センターには自動車産業支援部を中心に自動車関係の機器・設備が多く、174機器及び10設備が共用に解放されている。これらの機器・設備は、自動車排気ガス浄化用小型ハニカム触媒のエンジンダイナモ実排ガス評価装置や実環境電磁波分析装置など、より商品開発に近い設備・機器も多いので、産学官連携による新商品・新システム開発に適したものである。これらの機器・設備が活用され、これまでにEVバス、小型EV、自律走行EV等、7件の試作品が生まれている。